

群馬県立文書館

# 文書館だより

TEL 027 (221) 2346

URL <http://www.archives.pref.gunma.jp/>

第48号

平成23年3月



## 国重要文化財 「群馬県行政文書」

名称	群馬県行政文書
員数	一七、八五八点
種別	歴史資料
指定番号	歴第一五八号
指定年月日	平成二十二年六月二十九日
所在地	文部科学省告示第百三号 前橋市文京町三二七二六
保管施設の名称	群馬県立文書館
所有者	群馬県

「群馬県行政文書」は、群馬県及び前身の県・藩等行政機関において、作成、收受、編綴された永年保存文書を中心とする近代地方行政文書群です。

平成十九年に一七、六二九点が県の重要文化財に指定され、それに県議会文書、群馬県報、官報を追加した一七、八五八点が国の重要文化財となりました。年代は、地方自治法の公布・施行以前までとなっています。

行政文書の重要文化財指定は、京都、山口、埼玉の三府県に次いで全国で四例目です。



## 「群馬県行政文書」の概要

「群馬県行政文書」は、近代の本県における政治、経済、産業、教育等の諸分野に関する基本政策や行政機構を知る上で、基本資料であり、近代史研究、地方行政史研究に重要であると評価されます。

対象となる文書は、時代、内容及び伝来経過を反映した文書館における管理区分及び名称に従い、表のように九項目から構成されます。

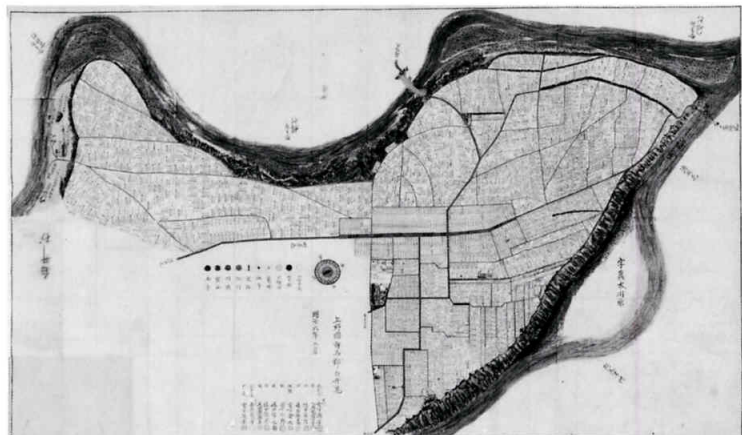
とくに、明治九年（一八七六）に第二次群馬県初代県令となった榊原素彦時代の行政文書は、近代社会の基盤形成の過程を示しています。また、養蚕・製糸業関係、学務関係、廃娼運動関係、温泉関係資料、群馬事件や秩父事件に関する資料、足尾鉍毒被害調査に関する資料、大正十二年（一九二三）の関東大震災の救援等の資料も注目されます。

明治五年（一八七二）から六年にかけて壬申地券発行に際し作成された壬申地券地引絵図は、県内八割以上の村の絵図が伝存し、全国的にも珍しい事例です。明治初期の県内の土地景観を概観できる、大変貴重な歴史資料です。

### 国重要文化財に指定された「群馬県行政文書」の主な内容

文書群名	点数	主な内容
明治期行政文書	3,605	旧県引継文書、知事事務引継、市町村合併、共進会、鉍毒事件、鉄道、宗教、学校、史蹟名勝、等
大正期行政文書	2,031	郡役所関係、県会議事堂新設、普通選挙、関東大震災関係、足尾鉄道、電話普及、民力涵養、等
昭和戦前期行政文書	3,071	県庁舎・警察署等建築、陸軍特別大演習、警防、罹災救助、国民学校、県立公園、古墳調査、等
明治・大正・昭和戦前期行政文書（追加）	2,176	林務関係、水利組合、財政関係、市町村条例、日露戦争褒賞、鉍泉・温泉、等
議会図書室収集行政文書	3,280	明治から昭和戦前期の行政文書、産業組合、水利組合、食糧配給、秩父事件、旧城・陣屋絵図、等
明治期地図等	1,595	検見耕地絵図、壬申地券地引絵図、官有地地図、耕地整理図、土木建築図面、旧城・陣屋絵図、等
県議会文書	247	明治12年から昭和22年までの県会議案・議事録、明治27年からの歳入歳出決算・予算書、等
群馬県報	343	明治19年8月県令第1号から昭和22年まで
官報	1,510	明治16年7月創刊号から昭和22年まで 本紙、号外（貴族院・衆議院報告、委員会報告等含む）
合計	17,858	

閲覧室で、重要文化財指定文書の原本を閲覧できます（絵図や劣化文書等はマイクロフィルムや複製本による閲覧）。複製については、原本の劣化防止のため撮影による対応をお願いします（デジタルカメラ等持参、無料）。壬申地券地引絵図のモノクロマイクロフィルムは、閲覧室内マイクロリーダーによる複写となります（有料）。



壬申地券地引絵図  
 「上野国群馬郡白井邑」現渋川市  
 130cm×215cm



【ふるさと再発見講座】――三回実施（講師敬称略）

6月16日(水) 吉祥寺（川場村）  
「利根荘の古刹」 岡部央



方丈枯山水

青龍山吉祥寺開基大友氏の本貫地は模国の酒匂川流域大友郷（小田原市）で、典型的な西遷御家人です。『吾妻鏡』によれば、中原親能の男で、大友郷に住した能直は、源頼朝の寵臣でした。同寺伝来の寄進状（文和三年）にある刑部大輔源朝臣とは、大友氏時のことで、氏の字は足利尊氏の偏諱のようです。『南北朝遺文』に氏時宛の尊氏充行状がみられ、また、『太平記』には豊後国で活躍する大友氏の話があります。

利根荘の初見は、正応元年（一二九〇）の梵鐘銘「上野国利根荘内白根郷春名権

現」で、大友氏以後の室町期、利根荘は万里小路家の所領となります。

同寺の開山は、五山文学を代表する中巖円月で、『東海一漚集』には、利根の春を詠じた七言律詩（後掲）があり、また、寄進状にある同寺の塔頭（止々庵）は、実際に住したものです。吉祥寺は、鎌倉五山筆頭建長寺の末寺として、北関東において、重要な位置を占めていました。

四囲山雪玉稜層  
溪漲春流零碎水  
列序裁梅論伯仲  
生年記竹識雲仍  
畏時辭粟蔗甘採  
触事吹壘羨慣懲  
水潔不宣鼃鼃産  
只応竜卵倚深澄

尾聯は、清冽な水に蛙は棲めないが、竜の卵にはふさわしいだろう、というほどの意で、この竜は山号（青龍山）とともに、吉祥寺の四神相應の地相における青龍（薄根川支流の桜川）を含意しているのかもしれませんが。

山門は、女院（広義門院・西園寺寧子）を治天として即位した史上唯一の天皇後光厳の勅額です。

9月15日(水) 東善寺（高崎市）  
「小栗上野介」 村上泰賢



遺愛の黒樅

小栗忠順は、フランスの技術者 Venny とともに、横須賀製鉄所の設立に尽力し、「いよいよ出来の上は、旗号に熨斗を染め出すも、猶、土蔵附き売家の榮譽を残すべし」という予言を残しましたが、この話は島崎藤村の『夜明け前』にも引用されています。

（土蔵附き売家の）横須賀製鉄所は、慶応四年閏四月、官軍に接収され、明治四年四月、横須賀造船所と改称され、以後、名称は変転したものの、横須賀海軍工廠として敗戦を迎え、連合国軍に接収され、現在は、アメリカ海軍太平洋艦隊の横須賀基地となったので、予言は二重の意味で現実となりました。

玉虫左大夫『航米日録』によれば、万延

元年閏三月二十八日、小栗は従五位下諸大夫の正装である狩衣を着して、White House を訪ねています。安政七年三月三日、井伊大老が桜田門外で暗殺され、同月十八日の改元なので、小栗が批准書に署名したのは、万延元年四月三日になります。小栗の花押は、諱の「順」の字を崩したもののようです。当時のアメリカの新聞によれば、フィラデルフィア造幣局における為替レート交渉で、日本の adams (算盤) と十進法はアメリカ人を驚かせたようです。また、パレードの様子は、Whitman の長詩「The Errand-Bearers (批准使節)」に詠われています。

写真は、神田駿河台の旧邸の樹を移し替えたもので、小栗遺愛の黒樅です。樅は、イエズス会宣教師 Camal を介して、十八世紀、欧州に紹介されました。Dumas と Verdi の「樅姫」の発表は、フランスが第二帝政に移行する頃でした。

小栗は、勘定奉行あるいは外国奉行として、製鉄所設立や陸軍歩兵制やパリ万博や武器購入について、ナポレオン三世の第二帝政期の公使 Rochas や銀行家 Firry-Herard と交渉しました。柴田剛中「仏英行」(慶応元年十一月条)に、貿易商社設立の件で、小栗の名が登場します。小栗が慶応三年四月に建議した兵庫商社は、日本における株式会社の原型と云われています。樅の学名 Camellia



japonica は、幕末日欧の交流の象徴か  
 もしれません。

小栗は、烏川河畔の水沼で、慶応四年  
 閏四月六日、家臣共々、椿の落花の如く  
 に斬首されましたが、同地には、蜷川新  
 の書による慰霊顕彰碑が建っています。

渋川市の後藤家に伝わる小栗日記は、  
 東山道総督岩倉具定の高崎在城を高崎藩  
 (大河内松平) の家来が伝えてきた、と  
 いう死の四日前の記述で断絶しています。  
 また、同家には、総督府内で交わされた  
 小栗の遺留品処分文書があります。

差出人の宇田栗園は岩倉具視側近の国学  
 者で、宛所の大音巡察使とは、初代岩鼻  
 県知事大音龍太郎のこと、近江国伊香  
 郡大音村出身、十人扶持の彦根藩士でし  
 た。同郡出身の福岡藩主黒田氏の家臣大  
 音氏と龍太郎との関係は不明です。

12月4日(土) 大信寺 (高崎市)  
 [駿河大納言] 安藤綾信

講師は、忠長自刃時の高崎藩主安藤重  
 信の末裔で、御家流茶道十六世宗家/御  
 家流香道十一世家元です。

写真は、天樹院(忠長姉)の亡夫秀頼の  
 陣羽織を追善供養として裁ち直した袈裟  
 と忠長愛用の銚子提子で、大信寺に伝来  
 するものです。また、同寺には、忠長の  
 遠忌(五十回忌、百回忌、百五十回忌等)  
 に関する天保期の文書が伝わります。



袈裟/銚子/提子

忠長の正室は、上野國小幡藩主織田信  
 良女で、祖母(市)は織田氏の出身なの  
 で、この婚姻には、母(江)の意向がは  
 たらいたかもしれません。

翌五日は、忠長卿追福茶会が行われまし  
 た。忠長は、寛永十年十二月六日、高崎城内  
 で自刃し、本年は三百七十七年遠忌にあた  
 ります。茶会と同時に行われた聞香は、喜  
 撰法師の歌を踏まえた五種の組香でした。

わがいはほは/みやこのたつみ/  
 しかそすむ/よをうちやまと/  
 ひとはいふなり

なお、祐天寺(東京都目黒区)の宮殿  
 (厨子型の mausoleum) に墨書銘が発  
 見され、崇源院(江)三回忌供養時に忠  
 長が造営したことがわかり、大信寺所蔵  
 の忠長書状に云う「崇源院様御玉屋」と  
 は、この宮殿をさすことが同時に判明し  
 たようです。

## 新たに収蔵した 行政文書

管理受任等 平成二十一年度に管理委任  
 及び引継により県の各機関から受け入れ  
 た文書は、九二五冊でした。(詳細は表  
 1のとおり)

表1  
平成二十一年度管理受任文書の課室別冊数

課室名	冊数	課室名	冊数	課室名	冊数
学事法制課	9	農政課	5	学校人事課	47
介護高齢課	4	農業経済課	12	文化課	54
保健予防課	22	畜産課	1	同(10年保存文書)	2
障害政策課	1	用地課	6	教育委員会合計	103
薬務課	26	道路管理課	32	公立学校共済	152
衛生食品課	4	道路整備課	137	組合管理受託	
環境保全課	3	都市計画課	274	総計	925
廃棄物政策課	134	知事部局合計	670		

収集 平成二十一年度の文書整理におい  
 て県の各機関が廃棄した文書資料中から、  
 文書館が歴史資料として収集したものは、  
 一、九五五冊でした。(詳細は表2のと  
 おり)

表2  
平成二十一年度収集文書部局別冊数

部局名	冊数
総務部	94
企画部	70
生活文化部	50
健康福祉部	182
環境森林部	187
農政部	243
産業経済部	145
県土整備部	628
議会事務局	36
教委事務局	194
(管理委任解除文書)	126
合計	1,955



県庁での選別収集作業の様子



# 新たに収蔵された 古文書

〔寄贈・寄託古文書〕(平成二十二年四月以降)

◎岡山県赤磐市・田代勤家文書

連合共進会図一点。(寄贈)

◎福岡県福岡市・本田康彦家文書

明治以降の群馬県の教育関係史料五九

点。(寄贈)

◎前橋市富士見町・徳沢自治会文書

近世く近代の徳沢地区に伝来した史料

三五点。(寄託)

◎北群馬郡吉岡町・中島英子家文書

経典類、和本類など史料三〇点。

(追加寄託)

◎岐阜県各務原市・大芝猛家文書

原敬から大正期の群馬県知事であった

大芝惣吉に宛てた書簡一点。(寄贈)

◎前橋市朝日町・高野家旧蔵文書

旧前橋市百軒町に所在した高野家に伝

来した明治期の史料四一点。前橋製糸精

選社関係や教育関係が中心。(寄託)

◎宮城県石巻市・赤松洋子家文書

明治期に群馬県の土木技師であった赤

松家に伝来した橋梁写真など一一点。

(寄贈)

◎吾妻郡嬭恋村・小林康章家文書

近世田代村の地方文書のほか、戦国大

名武田家家臣内藤家に関する史料や近代

以降の小林家経営史料九八点。(寄託)

◎埼玉県北葛飾郡杉戸町・根岸資治家文書  
沼田市恩田町に所在する根岸家に伝来  
した史料約三〇〇点。近世く近代の和本  
類ほか。(寄託)

◎渋川市北橋町・木曾義久家文書

近世前に由緒を持つ木曾家に伝来した

系図や近現代の教育関係史料など一六一

点。(寄託)

◎大阪府大阪市・萩原泰雄家文書

安中市に所在した萩原家の系図、居宅

図など一八点。(寄贈)

◎前橋市富士見町・樺澤誠也家文書

近世山口村、近代山口地区関係史料に

加え、樺澤家関係史料約一二〇〇点。

(寄託)

◎前橋市富士見町・樺澤福栄家文書

近世山口村く近現以降の山口地区史料

と樺澤家関係史料約一〇〇〇点。(寄託)

◎前橋市小相木町・和田正雄家文書

松平矩典の短冊一点。(追加寄託)

◎千葉県松戸市・松井家旧蔵文書

前橋市本町に所在した松井家に伝存し

た近世く近代にかけての史料約二〇〇〇

点。近世松井家は前橋町本陣を務めた。

松井素林などの近世芸芸史料を含む。

(寄贈)

◎北群馬郡吉岡町・馬場晴信家文書

近世く近代の北下村関係文書、戦国大

名武田家家臣末裔の馬場家に関する史料

約三〇〇点。(寄託)

# 新たに閲覧できる 古文書

◎千々和実氏収集文書(第二次)

近世上州各地のほか越後国魚沼郡の地

方文書と明治期の辞令・書簡・筆写史料

など。六二点(P〇八五〇九)

◎安中市安中・柏木實一家文書

「上毛教界月報」のうち明治四十一年

九月十五日発行の第一一九号から昭和

十一年十二月二十日発行の第四五九号ま

でを断続的に含む。

一四九点(P〇九五〇八)

◎旧佐波郡東村東小保方(現伊勢崎市東

小保方町)・萩原信之家文書(第一次)

萩原家は旗本久永家のもとで小保方村

の陣屋元役人を務めた。旗本久永家の文

書(久永勝信の日記類含む)、陣屋関係

の文書(送金・請取・証文・年貢関係)、

萩原家の私的文書(書状・版本)を含む。

一九九六点(P〇二〇二一)

◎前橋市総社町・大谷典子家文書

江戸時代「大野屋」の屋号で商売を行

っていた大谷家の文書群。明治期の金銭

出入帳を多数含む。

一六〇点(P九七〇四)

◎佐波郡玉村町飯倉・清水純家文書

清水家は川井河岸の船問屋を営み、江

戸時代の川井河岸関係の文書や私的な文

書を含む。二四〇点(P〇七〇七七)

◎吾妻郡長野原町応桑・黒巖有治家文書  
黒巖家は江戸時代には名主をつとめ茶  
屋本陣を営む。旧狩宿村の名主文書、明  
治く昭和の近現代文書を含む。  
五七六点(P〇七〇九)

◎上條信彦氏収集文書

川越藩(前橋藩)松平家に仕えた藤山

氏への宛行状や明治期の辞令などを含む。

二四四点(P〇八一三)

◎前橋市嶺町・池田三滋家文書

池田家は江戸時代の嶺村名主や明治時

代の嶺村戸長を務め、明治期の役場関係

文書などを含む。

四二六点(P〇〇九〇二)

◎本井晴信氏収集文書

岩松村水帳や県内各地の証文関係を中

心にした、江戸く明治の文書を含む。

一八二点(P〇〇九〇六)

◎伊勢崎市今泉町・倉林秀昭家文書

元禄上野国絵図(172cm×179cm)、

明治時代の今泉村戸長役場文書などを含

む。一一点(P〇九〇七)

◎太田市龍舞・武藤文二家文書(第二次)

武藤家は江戸時代の龍舞村名主などを

務め、名主関係文書約千点を公開。納税

や人別送り・各種証文などを含む。

九九〇点(P八八〇六)

◎高崎市下滝町・天田壮家文書(第二次)

虫損で閲覧不可能だった文書を装備・補

修し、コピー閲覧も含め閲覧可能とした。



一四八点（P〇八一〇五）

◎前橋市元総社町・伊藤泉家文書(第二次)  
明治初年に字別に作成された耕地図面  
を中心に追加公開。

一四九点（P八四一四）

◎旧佐波郡東村国定（伊勢崎市国定町）  
松原茂男家文書

同家に伝来した明治から昭和戦前期ま  
での書籍が中心。四九点（P九七〇一）

◎吾妻郡長野原町林・浦野安孫家文書  
（第一次）

四千点の同家文書のうち、足利義昭や  
滝川一益・北条氏邦などの約十点の中世  
文書や大乗院関係の近世文書などを公開。

一二二点（P〇六〇三）

### レファレンス(史料相談)について

古文書史料に親しむ人のため、毎  
月、第二・第四水曜日の午後、相談日  
を設けています。今年度は、約二百件  
の照会・問合せがありました。相談内  
容の約半数は、  
文字の解説が  
占めています。  
ただし全文の  
読解はせず、  
書画、短冊な  
どは対象外と  
しています。



## 群馬県行政文書国重要文化財指定記念特別展

# 県庁の今から過去をさぐる 開催報告

明治時代から昭和前期の「群馬県行政  
文書」が国の重要文化財に指定されたこ  
とを記念して、群馬県行政文書国重要文  
化財指定記念特別展「県庁の今から過去  
をさぐる」を開催しました。



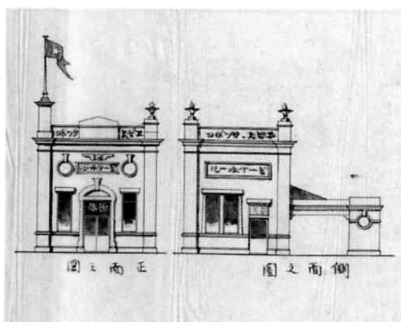
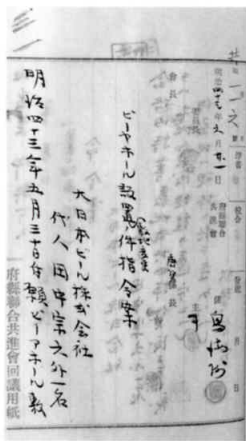
県庁文庫内部(昭和30年代)(左)と文書館国重文庫内部(現在)

これらの行政文書は行政事務の過程で  
作成・収受されたものです。そして当時  
及びその後の人々の文書管理に対する意  
識の高さにより保存されたのですが、現  
在ではその頃の県政のあゆみや県民生活  
を物語る記録史料として、大きな価値を  
有するに至っています。なお都道府県の  
行政文書としては京都、山口、埼玉に次  
いで四例目の指定です。

今回の展示では、県のホームページの  
項目をキーワードに、重要文化財指定さ  
れた公文書群の中から関連するものを紹  
介しました。十月二十五日から二十九日  
までの六日間の開催で、多数の方にご覧  
いただきました。

次に展示資料のいくつかを紹介します。

### 〔産業〕群馬県主催一府十四県連合共進会



ピアホール設置敷地変更ノ件許可  
指令(部分)【明治1498 1/2】

明治四十三年（一九一〇）九月十七日  
から二か月間にわたって、本県主催一府  
十四県連合共進会が前橋市で開催されま  
した。共進会とは参加各県の物産を一堂



演芸館及各接待所【B5165】  
※左端に建設されたピアホールが見える

に集めて陳  
列し、一般  
の観覧に供  
し、その成  
績を審査し  
て表彰する  
ものです。  
期間中の入  
場者数は、三会場で延べ九万四千人に  
達しました。共進会は本県に近代文明の  
風を大きく吹き入れました。

### 〔自然・環境〕第二回植樹祭

全国植樹祭は、国土緑化運動の中核的  
な行事として、毎年春に開催されていま  
す。大会の前身は、「愛林日植樹行事」です。  
昭和二十五年（一九五〇）からは、山梨



伊能知事の挨拶文【議会88B5001】



前橋市街における両陛下の奉迎



記念造林地全景



県で、「植樹行事並びに国土緑化大会」として第一回大会が開催されました。

本県では、昭和二十六年の第二回大会、そして平成一〇年（一九九八）に第四十九回大会が開催されています。昭和五十二年（一九七七）からは、秋に過去の植樹祭での手植え・手まきにより成長した木の手入れを行う全国育樹祭が行われ、これは皇太子・皇太子妃が出席するものときられています。去る十月三日には第三十四回育樹祭が本県で開催されました。

なお、平成二十三年四月から「公文書等の管理に関する法律」の施行が予定されています。同法では、業務に用いる公文書の作成から歴史資料としての利用までを一元的に管理し、行政の効率的な運営と現在及び将来の国民に対する説明責任を全うすることが目的とされています。地方自治体においても、法の趣旨を踏まえ



展示会場の様子

た公文書の保存管理・活用が求められています。公文書がより身近になるよう当館としても普及に努めていきたいと思えます。

## 平成二十二年 度文書館収蔵資料展1

### 街道をいきかう人々と宿場のくらし

～沼田街道と森下宿を中心に～

本展示は、昨年度刊行の『収蔵文書目録28』・利根郡昭和村諸家文書・の成果を活用したものです。

江戸時代、前橋から利根川左岸の米野・溝呂木・長井小川田・森下宿を経て沼田に入る沼田街道東通りが本街道として位置付けられていました。真下一久家文書を中心に、周辺諸家に残る森下宿や沼田街道に関わる文書を展示し、森下宿の賑わいや赤城北西麓の人々の交流の再現をめざしました。展示構成は次のとおりです。

- (1) 沼田街道とは
  - (2) 森下宿のにぎわい（市立・宿場・問屋入札・本陣角田家）
  - (3) 武家の通行（巡見使・沼田藩主）
  - (4) 庶民の往来（高遠石工ほか他国職人・たばこなど特産物）
  - (5) 森下村と生越村（林場・享保の荷継問題をめぐって）
- 七月十日から十月三十日までの九十一日間、観覧者総数は千二百名を超えました。さらに、新たな試みとして、八月十三日と九月三日の二回、展示説明会を実施しました。

## 平成二十二年 度収蔵資料展2

### 県庁の今から過去をさぐる

県庁特別展に引き続き、平成二十二年十一月十三日（土）から二十三年二月十三日（日）まで、本館展示室において開催しました。

構成は「暮らし」「産業・労働」「県政一般」の三コーナーに分けて、それぞれに関する公文書や写真などを展示し、解説文を付けて分かりやすい展示に努めました。「暮らし」では、地租改正に伴って作成され、一村ごとに土地の所有者を記した壬申地券地引絵図を展示し、当時の村の様子を紹介しました。

「産業・労働」では、明治四十三年に開催された一府十四県連合共進会に関する文書や図面、写真などを展示しました。「県政一般」では、明治初期の県庁の組織や服務・心得、採用試験などに関する文書、県議会の様子や衆議院議員選挙の様子を文書や写真などで紹介しました。参観者からは、「白井村の壬申地引絵図中で、渡船の乗客のカンカン帽子（当時山高帽が大流行）」と着物がよく似合っていた「明治時代の県庁職員勤務時間に関する文書がとても興味深かった」などの感想が寄せられました。引き続き、ホームページで公開しています。

### ぐんま史料研究講座 ～よみがえる史料の世界Ⅱ～

昨年度から開始した本講座は、多数の受講者を得て、今年度は、中世・近世・近現代の五回、実施しました。（敬称略）

#### 第一回 十二月十一日（土）

築瀬大輔（群馬県立歴史博物館学芸員）  
「群馬の中世を買い戻せ！」  
「赤堀文書」は叫ぶ 歴史博物館の役割

#### 第二回 一月八日（土）

佐藤孝之（東京大学史料編纂所教授）  
「近世山村の史料を読む」上野村「黒澤家文書」を素材として

#### 第三回 一月二十二日（土）

落合延孝（群馬大学社会学部教授）  
「幕末維新期の農民日記を読む」吾妻郡植栗村関塚家文書

#### 第四回 二月十九日（土）

関戸明子（群馬大学教育学部教授）  
「二〇〇年前の郷土を知る」明治四十三年の教育品展覧会と郷土誌編纂

#### 第五回 三月五日（土）

宮崎俊弥（共愛学園前橋国際大学教授）  
「近代群馬の農業史料を読む」利根郡池田村の阿部常治「百年農家の歩み」  
北毛・西毛地域の史料も対象にしたので、昨年以上の幅広い地域からの参加者があり、未紹介の史料は受講者に新鮮な感動を与えたようです。



## 案内板



黄三桜

### ◎『群馬県行政文書件名目録』第22集 〔明治期法務・雑事編〕の発行

本目録は「群馬県行政文書簿冊目録第1集」(明治期行政文書編)の分類項目中「法務」(雑事)に類別されている簿冊一・二六冊より二七三二件を収録した閲覧用の文書件名目録です。それぞれ細項目を設定し、検索の便を図っています。

### ◎『群馬県立文書館収蔵文書目録』第28集の発行

本目録は、「群馬県立文書館収蔵文書目録」第28集・利根郡昭和村諸家文書として、同村森下の真下一久家文書、同村森下の真下文男家文書、同村生越の林成一家文書の計三件の史料を収録しています。なかでも、真下一久家は、約四八〇〇点に及ぶ利根郡を代表する文書群です。旧森下村を中心に、赤城北西麓の人々の暮らしと交流を知りうる貴重な史料群です。

### ◎郷土資料の販売

「群馬県史(全37巻)」、「群馬県史研究」、「ぐんま史料研究」、「群馬県史収集複製資料目録」、「群馬県行政文書簿冊目録」、「群馬県行政文書件名目録」、研究紀要「双文」、「普及版 授業で使えるぐんまの資料」、「元禄上野国絵図パズルキット」等の郷土資料は、文書館の外、以下の書店等で販売しています。県立歴史博物館ミュージアムショップ・煥乎堂・紀伊国屋書店前橋店・群馬大学生協・前橋物産館広瀬川・ナカムラヤ。詳細は文書館ホームページ参照。

なお、「群馬県行政文書件名目録」及び「双文」は、本年度を以て暫く休刊とします。

◎『公文書等の管理に関する法律』(平成21年法律第66号)が、平成23年4月1日から施行されますが、同法第34条は以下のとおりです。

「地方公共団体は、この法律の趣旨にのっとり、その保有する文書の適正な管理に必要の施策を策定し、及びこれを実施するよう努めなければならない」

◎『全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)』の「平成23年度全国大会」は、平成23年10月27・28日、高崎市の新図書館で開催の予定です。

## 報告板



紅三桜

〔行政文書の受任・引継収集〕(於県庁)

6・30～7・9 (知事部局)

7・16 (教育委員会)

〔古文書の収集・整理〕年間(随時)

〔国際アーカイブズの日記念講演会〕

6・9 実施

〔古文書入門講座〕

6・12～7・10 (5回連続)

〔長期古文書講座〕

8・7～11・20 (14回連続)

〔ぐんま史料研究講座〕

12・11～3・5 (5回連続)

〔ふるさと再発見講座〕

6・16/9・15/12・4 (3回)

〔ふるさと再発見クイズ〕

4月～3月(12回)、ホームページで

〔インターネット古文書講座〕

4月～3月(12回)、ホームページで

〔夏休み!文書館子ども探検隊〕

8・12 実施

〔レファレンス相談〕

毎月第2・第4水曜日(午後)

〔文書調査員会議〕

5・19 開催

〔文書館運営協議会〕

7・21/2・4 開催

〔群馬県市町村公文書等

保存活用連絡協議会〕

5・25 総会 2・18 研修会

## 案内図



群馬県立文書館  
(027-221-2346)

発行／群馬県立文書館  
http://www.archives.pref.gunma.jp/  
〒371-0801 前橋市文京町三二七二六  
印刷／朝日印刷工業株式会社  
題字／岡庭征人書